

美希病院広域支援センター 活動について

今回の担当：美希病院 高橋恵理

胆江支部：令和5年11月16日

胆江地域（奥州市、金ケ崎町）における地域リハビリテーション広域支援センターの指定を受け今年で9年になります。昨年度の活動内容の中から2つの活動を紹介します。

1つ目は、医療機関・介護保険施設・事業者等に対する、感染対策を考慮した動画研修です。内容は、①なぜ、ポジショニングクッションが必要か②ポジショニングクッションの使い方③ベッド上でのポジショニング④特殊症例へのポジショニングという4つの内容でした。各々20分程度の動画を事前に撮影し、1カ月間YouTubeでオンデマンド配信をしました。動画研修の提供は初めての試みでしたが、視聴後のアンケート結果では「自由な時間に視聴できた」等好評でした。

2つ目は、特に力を入れて取り組んでいる奥州市介護予防事業「よさってくらぶ」への活動支援です。令和3年度と4年度は、日常生活に支障をきたし要介護状態のきっかけとなりうる「痛み」をテーマとして、全員が「痛み」を訴えているグループを、奥州市の包括支援センターと共に選出し、対象のグループへ2～4名のリハビリ職を派遣しました。初回の支援は、「痛み」をテーマとした講話と運動指導、体力測定（TUG、握力）を実施します。2回目の支援は、事前に包括支援センターの職員が参加者全員に相談内容の聞き取りを行い、1人5～10分程度でリハビリスタッフが個別相談を行います。3回目の支援は、再度体力測定を行い、その結果を踏まえてまとめの講話を行います。また、フォローアップとして、前年度に訪問した2グループを対象に、講話内容の理解度や継続性等を確認しながら「痛み」に対する講話や体操などの復習を行います。

個別に相談出来る時間を設けたことは、普段はなかなか出来ない身体の悩みについて相談が出来るため、参加者の方からは好評でした。リハビリ職の介入は活動の刺激にはなっているようですが、指導した運動などの継続性にはなかなか結びついていない状況です。

令和5年度は、これまでの活動に加え通いの場サロンの支援を予定しています。専門分野毎に様々な講話の動画を撮影中で、出前講座のように各会場に訪問していく予定です。



介護予防事業「よさってくらぶ」



個別相談



いきいきサロン